

らんぞん RANZAN



嵐山町政施行六十周年記念町歌

一 大平山は 陽に映えて
オオムラサキが 空を舞う
風も優しい このまちは
希望あふれる 歌がある
幸せいっぱい みんなが笑顔
嵐山町は かがやいて

二 溪谷渡る 清流に
桜並木が 花そえる
緑豊かな このまちは
未来へかける 虹がある
幸せいっぱい みんなが笑顔
嵐山町は とぎめいて

三 武士の鑑を 語り継ぐ
浪漫を誘う 獅子舞よ
文化華やぐ このまちは
ゆくて明るい 夢がある
幸せいっぱい みんなが笑顔
嵐山町は はばたいで

作詞 朝倉 修
作曲 松井 孝夫



町制施行60周年記念町歌の歌詞等は、こちらからご覧になれます。 ➡



- ◆第1・2回臨時会・第2回定例会報告 主な議案と審議結果…P 2
- ◆一般質問9人が町政を問う……………P 3～7
- ◆小中特別委員会／意見書……………P 8
- ◆常任委員会・一部事務組合……………P 9
- ◆地域意見交換会／編集後記 ……P10

令和8年第2回定例会傍聴者 27人

議員が編集した手づくり議会だよりです。こちらからご覧になれます。 ➡



想定を超える物価上昇は「学童保育室」改修予算に影響

令和8年第1回臨時会
(4月23日)

議案第21号

一般会計補正予算

●学童保育室事業

1億4167万円増
小中学校再編に伴い、菅谷
中学校の1階を学童保育室に
改修する費用の補正。合計3
億2800万円となる。

Q この物価上昇率で学校
建設費もみているのか。

A 学童保育室改修費用は令
和5年にm単価×物価上
昇率で計算した。算出基準が
少し古い令和5年であったた
め大きな乖離^{かいり}があった。一方、
学校建設費用は、令和7年8
月に積算したものである。学
童保育室改修費用ほどの乖離
はないとみている。しかし、
1%違っただけでも金額が大
きいので建設費用も大きくな
るため出来るだけ情報を収集
し、乖離がないように努める。

令和8年第2回定例会
(6月4日～6月11日)

議案第24号

一般会計補正予算

●武蔵嵐山駅東西連絡通路・
駅前広場管理事業 90万円

嵐山駅東口の線路沿いと交
番側の両駐輪場を録画できる
防犯カメラを増設する。

●指定文化財保存管理事業

300万円
『杉山薬師堂の元全網雲電
画』を屏風に転写し、町政60
周年記念として公開する。

議案第26号

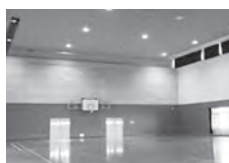
工事請負契約の締結

●B&G海洋センター体育館
空調設置 9339万円

エントランス及びアリーナ
に空調を新設。

Q 工事期間中、体育館が使
用できない期間は。

A 本年12月
～来年2
月を工事期間
とし、この間
の体育館は使
用できない。



B&G海洋センター体育館

令和8年第2回臨時会
(6月30日)

議案第27号

工事請負契約の締結

●(仮称)武蔵嵐山小学校学童
保育室改修工事 3億195万円



菅谷中学校の1階を学童保育室に改修

「観光協会」が解散へ

6月10日、全員協議会
において、町から「一般
社団法人嵐山町観光協
会」が解散されると報告
があった。

「観光協会」は経営悪
化による赤字経営（令和
7年度735万円の赤
字）が続いているため、
令和8年度中に解散し、
新たな方向性を検討する
としている。

令和8年第2回定例会 議員提出議案と結果（賛否の分かれた議案）

議案番 号	議 案 名	審議 結果	佐藤 弘美	橋本 将	宮本 大裕	小林 智	藤野 和美	吉本 秀二	森 一人	青柳 賢治	畠山 美幸	川口 浩史	渋谷登美子	狩守 勝義
発議第 6号	防衛装備移転三原則等の見直しに反対し、恒久平和主義を守ることを求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	●	×	×	×	×	●	●	
発議第 7号	高校、高等教育機関へ通学する障害をもつ学生の移動保障及び合理的配慮の推進に関する意見書の提出について	否決	×	●	×	×	●	×	×	×	×	●	●	
発議第 8号	ゲノム編集技術を応用した食品の情報提供及び表示に関する意見書の提出について	否決	×	●	×	×	●	×	×	×	×	●	●	
発議第 9号	地方自治体の特別職に対する産前産後休暇制度の整備を求める意見書の提出について	否決	×	●	×	×	●	×	×	×	●	●	●	
発議第 10号	教育基本法に違反すると認定したことに反対する意見書の提出について	否決	×	×	×	×	●	×	×	×	×	●	●	
発議第 11号	憲法改正に反対し、改憲発議を行わないことを求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	●	×	×	×	×	●	●	



全ての議案賛否は
こちらから

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。○の網掛けは、賛成討論を行いました。

一般質問 9人の議員が町政を問う

※本文は質問した議員本人の責任で要約した原稿を掲載しています。

※各議員の質問動画はYouTubeにて配信しております。二次元コードによりご覧になれます。

1 宮本 大裕

質問事項 ◆町内における樹木管理について

2 畠山 美幸

質問事項 ◆県道通学路整備について
◆使用済み園芸用等の土の回収について
◆嵐山郷の周辺の桜の木の伐採について

3 渋谷登美子

質問事項 ◆独立行政法人「男女共同参画機構」との今後の関わりについて
◆健康寿命の延伸とたばこ税収に係る財政リスクについて
◆東松山・小川地区衛生組合における広域ゴミ処理について
◆インクルーシブ教育と支援のあり方について
◆家庭での看取りについて

4 吉本 秀二

質問事項 ◆町の効率的な業務運営について
◆都幾川桜堤の管理及び将来構想について

5 橋本 将

質問事項 ◆災害時協力井戸について

6 小林 智

質問事項 ◆町内の国・県道の町道移管について
◆交流センターの活動状況について

7 藤野 和美

質問事項 ◆新規就農促進について
◆ごみ処理の広域化について
◆物価高・資材不足への対策支援について

8 川口 浩史

質問事項 ◆歩道設置について
◆女子生徒のスラックス着用について
◆学校間のスポーツ等の送迎について

9 佐藤 弘美

質問事項 ◆嵐山町における蓄電池施設について



菅谷小学校の大クス
学校再編で伐採が決まっている

問 嵐山溪谷にある国内二位の大キリについて
生 町が調査の上、保護に努める。

問 枯損木の調査及び倒木等事故発生時の町の対応について
農 民地については適正管理を周知し、法に従い所有者の責任において管理してもらう。

ま パトロールや通報等による早期発見に努め、倒木等が発生した際には交通確保を最優先し、緊急的な撤去・道路啓開作業を実施する。民地については原則として所有者へ経費を請求する。

樹木管理について



みやもと だいゆう 議員
宮本 大裕



『嵐山溪谷の大キリ』 目通り380cm 高さ約20m
日本第2位 埼玉県第1位 環境省「巨樹・巨木林データベース」

問 町有林の樹木を活用した場合、伐採跡地に、児童生徒の植樹は可能か
教 育長 町有林の樹木活用の有無を含め、町の動向を待って判断する。

問 菅谷小学校正門前大クス伐採に伴う木材の活用について
教 育長 記念品を作るなど、記録・記憶に残るものの作製に努める。

問 「森林セラピー」実施に伴う嵐山溪谷等町有地の活用許可について
町 長 町の発展に努める積極的な活動については全面的に協力する。

農 農政課長

ま まちづくり整備課長

生 生涯学習課長



はたけやま みゆき
畠山 美幸 議員



使用済み園芸用等の土の回収について

問 家庭園芸の普及に伴い、使用済み園芸用土の処分に困る住民が増えている。本町では収集対象外となっている。ホームセンターで受け入れていると聞いたが考えは

環 県内のホームセンター・鶴ヶ島市・吉川市の2か所で実証実験をしている。今後、ホームセンター本社に確認したい。

嵐山郷の周辺の桜の木の伐採について

問 近年、クビアカツヤカミキリによる被害が拡大し、枯損木や空洞化した樹木による倒木・落枝の危険性が高まっている。道路利用者の安全確保のため、管理責任の区分や被害状況の把握、緊急的な剪定・伐採などの対応が重要と考え伺う

①県管理区域と県道・町道における管理責任の整理について

②被害状況や危険木の調査状況について

③事故防止に向けた剪定・伐採など安全対策について
④県と町が連携した今後の対応について

答①

ま 桜が植栽されている箇所には県道はなく、嵐山郷敷地内の桜は県の管理、外周の東・西・北側の町道沿いの桜は企業支援課が、町道はまちづくり整備課が管理している。

答②③④

企 クビアカツヤカミキリによる被害について、嵐山郷敷地内では多数の被害が見られ、町道沿いでは老木による立ち枯れが目立っている。現地確認の結果、23本中17本が伐採対象となり、特に危険性の高い5本程度は早期伐倒を予定している。今後は、まちづくり整備課と企業支援課が連携し、安全確保のため監視を強化していく。



嵐山郷周辺
町道沿いに目印あり=R8.4.24



しぶや とみこ
渋谷 登美子 議員



タバコ対策と健康・財政

問 医療とタバコの影響では、タバコ産業は総額で2兆8千億円。一方、医療の損失額は4兆3千億円という。町内の喫煙状況と、健康や財政への影響は

健 町全体の喫煙率は14・8%で、妊婦の約6・5%（約70人中5人程度）に喫煙習慣があり、20代妊婦の喫煙も課題。保健師の個別指導や健診後の保健指導を継続している。

総 タバコ税収は公表済だが、医療費との比較分析は難しく、受動喫煙防止に向けた啓発や公共空間の禁煙周知を推進していく。

在宅での看取り（在宅死）

問 在宅死を希望する住民への支援体制は

長 住民の55%が「自宅で亡くなりたい」と回答している。訪問看護は

嵐山町にはないが、近隣市の事業所が全力バーしており、今年度中には「看護多機能」施設も整備される。看護多機能施設では看取りも実施予定。1人暮らしでも、配食業者等と連携した「見守り事業」や、町配置の看護師による定期巡回、人生会議（ACP）の普及を通じて、異変を早期に察知し、本人の意思に寄り添いバックアップする体制を構築していく。



禁煙等強化区域横断幕・駅西口=R8.6.10

タバコは、
全身病のもとです





よしもと しゅうじ 議員
吉本 秀二



町の効率的な業務運営について

問 当町は学校再編・新校建設という大事業を抱えており、効率的な業務運営は極めて重要である。

給与・定員管理の現状評価、課題、今後における人件費等に対する考え

総 職員の実人員は、前年度比正職員4人減の139人、会計年度任用職員3人減の127人。

人件費は、令和7年度決算額に対して8年度補正後の予算額が、正職員が486万5千円増の9億1455万1千円、会計年度任用職員が1728万5千円増の2億731万9千円となっている。人事院勧告等により人件費が年々増額状況の中、職員一人ひとりの努力や知恵により効率的な業務運営が図られていると評価している。課題と

としては、職員受検者数の減少傾向がある。限られた予算で最大の効果を上げることが基本であり、職員体制や人件費も同様の方針で運営していく。

問 当町の給与明細書には、児童手当、社会保険料が含まれておらず、人件費の総額に反映されていない。また、一般会計予算書の給与費明細書も不十分な説明になっている

副町長 調査、確認をする。

問 当町の給与・定員管理は、類似自治体と比較しても適正であると評価できる。しかし、滑川町は当町より人口が約2500人多いが、職員数も少なく、人件費も低い。この要因は

総 当町より、職員の平均年齢が低いことがある。

問 加えて、当町は他町より組織構成が多く、職員数増の要因になっている面がある。メリットもあるがデメリットもある。考えは

副町長 現状は今の体制が一番職員も起動しやすいと考えているが、必要に応じて、長の命を受け、必要な課の配置は当然考えていく。



はしもと まさひろ 議員
橋本 将



災害時協力井戸について

問 災害時協力井戸は電動ポンプ式がほとんどである。停電時には水を供給できないとの声があるが

地 防災会で所有している発電機を利用していただく事を想定している。

問 リフォーム補助や防災関連補助を拡充してポータル電源購入補助をしたらどうか

地 一部の自治体で実施しているのを調査研究していく。

問 町内井戸の水質検査の実施状況は

地 町として水質検査実施の有無は把握していない。

問 水質検査を町で行ってくれる

地 保健所が専門業者を紹介する事になる。

問 簡易検査なら5000円程度、年20基としても10万円程度。水質データ蓄積は異変の気づきや対策の根拠になる。町民の安心にもつながる。町でまとめて検査できないか

副町長 飲料水である浄水場の原水を水道法による検査は行っている。



※災害時協力井戸は、災害による断水時にトイレや清掃などに使用する生活用水の確保を目的として、井戸所有者の協力により登録されています。

問 防災マップ等に災害時協力井戸の記載がない。災害時に利用できる井戸がどこにあるか周知が足りないのでは

地 「災害協力井戸の家」というプレートを配布している。各防災会に地区の情報カード一覧を配布している。

問 今後の取り組みは

地 10年毎の情報カード更新作業を進める。防災計画の更新やハザードマップでの周知を行い、災害時に円滑に使える体制づくりの推進を図っていく。

嵐山町 災害時協力井戸の登録状況

区分	登録井戸数	揚水方式	井戸数
菅谷地区	122基	電動ポンプ式	185基
七郷地区	69基	手導ポンプ式	6基
合計	191基		

嵐山町の原水水質検査結果（一例）

検査項目	検査結果	基準・意味
pH値	7.1	中性に近く、飲料水として良好な範囲
大腸菌	不検出	水の安全性を確認する重要な指標
有機物	0.4mg/l	有機物による汚れが少ないことを示す
水の状態	良好	清浄で良質な水源であることを示す

災害時もみんなで助け合おう





こばやし さとし 議員
小林 智



国道・県道の町道移管について

問 国道254号線（旧道）の町道移管が前回定例会にて認定された。町道移管の課題、判断基準、管理負担、財政支援は

答 移管は将来にわたり財政・人員の大きな負担を伴う重大課題であり、町は不利益やリスクを避け慎重に交渉する。道路区分は道路法に基づき、旧道の役割が広域交通から地域利用へ変化したかが判断基準となる。移管後は維持補修や草刈りなど新たな負担が生じるため、県と事前補修や歩道整備など負担軽減策を調整している。また、移管に伴う維持管理費を対象とした一律・継続的な財政支援制度はない。

交流センターの利用状況と休日活用について

問 利用状況は



町道移管される旧国道254号線（約600m）
移管後は町管理となる＝R8.6.16

生 令和7年度の利用延べ人数は、ふれあい5万3008人、北部2万2033人、南部2053人で、休日利用は40～50%。多くが文化団体である。

問 祝日閉館としているが祝日利用を行っても管理負担は大きくなく、町民活動の促進につながる。祝日利用の解放とスポーツ施設で導入したオンライン予約を交流センターにも導入してほしい

生 祝日開放とオンライン予約の導入については、町民の利便性向上の観点から検討していく。

新規就農促進について



ふじの かずみ 議員
藤野 和美



問 遊休農地の現状は

農 まだ十分耕作できる農地として、21・5ヘクタールある。

問 新規就農促進の方策は

農 都心に近いこともあり、「半農半X」「小さな農業」「週末農業」の視点も必要と思う。

問 楽しむ農業を推進するためにも、HP上での相談窓口設置は

農 検討していく。

ごみ処理の広域化について

問 ごみ処理の広域化で基本合意に至ったのは、

コストメリットとCO2削減効果とのことだが、町の負担額はどの位か

環 あくまで試



出典：環境省・エコジンのHP

算ではあるが、20年間で約48億8千万円、比較して約3億9千万円のメリットとなる。

町長 ごみ処理は、自治体がおこなうべきことなので、施設は必要と考えるが、まだ任意協議会の段階であり、費用の負担割合を含めて決定していることはない。決まっているのは、1市4町1村の枠組みと施設の建設の場所が東松山市内になることだけである。

物価高・資材不足への支援は

問 農業者支援のためにも、農産物直売所での販促キャンペーンは

農 検討していきたい。

問 介護事業所への支援は

農 国の動向を注視していく。

問 建築業者への支援としては

農 商工会とも連携して、相談等寄り添った支援を行っていく。会員以外にも広げていきたい。

問 住宅リフォーム補助金の拡充による支援は

農 担当課とも相談していきたい。

問 その他考えることは

農 国からの交付金をふまえて、総合的に検討していく。

問 国からの交付金をふまえて、総合的に検討していく。

総 国からの交付金をふまえて、総合的に検討していく。

ま まちづくり整備課長

生 生涯学習課長

農 農政課長

歩道設置について

かわぐち ひろし
川口 浩史 議員

問 県道・深谷嵐山線の嵐山ガス店から線路を渡り手押信号機のところまでの歩道未整備部分に歩道設置計画があがった。歩道の幅は自転車も通行できる3・5mである。この道路の通行量はどのくらいあるのか

答 1日あたり5500台の車両が通行し、そのうち700台が大型車である。

問 今後、都市計画道路（ヤオコー・図書館・川島地内を通ってつきのわ駅）が完成すると北部方面への通行は都市計画道路を通るのではないかと考える。この道路が完成後、歩道設置計画部分の通行量はどのくらいになるのか

答 事業主体の埼玉県において、現段階では具体的な数値を算出していないとのことである。

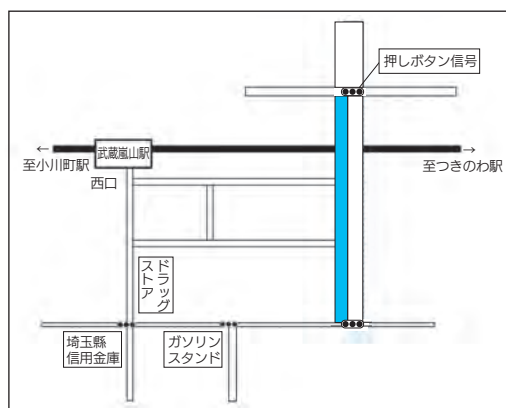
部活動による移動の安全について

問 磐越自動車道において生徒が亡くなる悲惨な事故が発生した。このような事故を本町では絶対に起こさないために徹底した防止策が必要だ。そこで、部活などでの学校を離れての練習や試合はどのくらいあるのか

答 今年の5月ある学校では平均3回あった。

問 その際に送迎はどのようにしているのか

答 町が契約しているバス会社を使用している。また休日であれば、保護者が送迎している。



着色部分に幅員3.5mの歩道設置

嵐山町における蓄電池施設について

さとう ひろみ
佐藤 弘美 議員

問 蓄電池施設の建設予定があるが町の考えは

答 古里地区内で計画している場所は、嵐山郷の南側の外周道路に接しており、面積が1769㎡、地目が畑。事業面積、約788㎡の計画で

工事期間が令和8年10月～令和9年2月まで。嵐山町環境保全条例第14条の規定により、事業面積300㎡以上かつ現状地盤高との高低差が1m以上の掘削や切土があるときは、町の許可を受けなければならないが、現時点では、町には許可申請は提出されていない。嵐山町環境保全条例第12条には、『事業に係る苦情又は紛争が生じたときは、説明会若しくは話し合いの場を設けるなどして自らの責任と負担において誠意を

もって解決にあたらなければならない。』とも規定してある。町としても環境負荷の軽減も念頭に置き、事業者が法令を遵守することや、地域の方々の情報共有に努める。

問 町内ですでに稼働している蓄電池施設は何か所あるか

答 稼働しているか不明だが、志賀にあり、志賀、鎌形、將軍沢で予定されている。

問 嵐山町議会は令和7年第4回定例会において「系統用蓄電池に関する全国的な安全基準及び設置の策定を求める意見書」を国に提出した。町民の不安を取り除くのは町独自のルールだと思うが、どの様に考えているか

副町長 太陽光発電、蓄電池事業に対する住民の皆様の不安感というのが一番の大きな問題だと思う。太陽光発電が町の条例でもあるように蓄電池等に対してもそういった対応をしているところがあるので、条例が指導要綱的なものを作りながら出来る範囲で指導していきたいと思う。

総務課長

企業支援課長

教育総務課長

環境課長

嵐山町立小中学校再編調査特別委員会

4/17・5/15

学校統合推進課より説明

【新校の校章について】

・令和7年10月1日から11月24日にかけて公募を実施し、合計132案の応募があった。
・町内在住者及び町内教育機関職員等を対象にWebアンケートも実施した。こうした経過と協議結果を踏まえ、4月14日に行われた教育委員会においてアンケート結果を尊重しつつ、長期的に学校の象徴としてふさわしいか、また地域性や品位を備えているかという観点から審議を行い、決定した。

【クラウドファンディング型ふるさと納税の実施について】

・新校建設となると、学校建設費以外にも備品など様々な購入費が掛かるので、新たな財源を確保する必要があると考える。そこで、総務課と連携し、クラウドファンディング型ふるさと納税を実施し、学校の備品に充当する予算確保に努めたい。現在、運営サイトと調整しているところで、学校建設が終わる頃まで寄附を受け付ける予定。

●主な質疑応答

Q クラウドファンディングで設定する目標額は



クラウドファンディング案内はこちら

A 児童生徒が使う机と椅子を全て新調したい。概算で3千万円程度かかると見込んでおり、現時点ではそこを目標と考えている。

総務課及び教育委員会より説明

【現状における財政計画について】

・総事業費約60億円を想定して、補助金約30億円、基金約10億円を充当し、残り約20億円を借り入れた場合、20年間で年約1億円返済をする計画でいる。借入額が仮に増額になったとしても、一年の返済額2億円ぐらいまでは可能である。現在、2億円以上の基金を積立てているので、それを返済に充てることであれば、他の事業に大きく影響しないと考えている。

【特別支援教室の配置について】

・一人一人の子どもたちの教育的ニーズに対応すること、特別支援学級間での協働、それから特別支援学級と通常学級の交流、この3点が大事になる。このことを配慮した上で、特別支援学級の配置を検討した。個別配慮が必要な子や通級指導等を考えた時にはマルチルームという小さな部屋を複数用意して対応したい。

●主な質疑応答

Q 不登校生徒の対応スペースは、どの様に考えているのか

A 不登校対策は、校内教育支援センターとして1教室を利用して考えている。これにマルチルームを活用することも考えている。初めから不登校対策の部屋と明記してないのは、通級指導等、また複合的に使うことがあるかも知れないので、マルチルームとしている。

可決意見書



意見書全文は
こちらから
ご覧になれます

安全・安心な医療・介護の実現のための人材確保と処遇改善を求める意見書の提出について
(要約)

国の医療及び介護の現場は、高齢化による需要の急増と少子化に伴う深刻な人材不足に直面している。さらに夜勤交代制労働については身体的、精神的リスクへの影響も懸念される。国では、看護師の人材確保、さらには、介護職員の処遇改善への支援など、様々な施策を講じているが、人手不足を補うだけの労働力の確保や処遇改善などには、いまだ不十分な状況にある。これらの取組を更に強力に推進するとともに、今後の医療及び介護サービスの提供体制を再構築するため、さらなる労働環境の整備や処遇改善を図ることを求める。

提出先 衆参両院議長

内閣総理大臣 ほか

文教厚生常任委員会

地域コミュニティの仕組みづくり

【4月16日委員会】前回視察した「むさし嵐丸庵」を踏まえ、同様のコミュニティサロンを他地域へ広げる際の課題を協議。人材育成の難しさ、リーダーの高齢化、地区事情に詳しい社協スタッフや区長の役割の重要性が指摘され、空き家の活用やエリアプロデューサーによる次世代人材の発掘の必要性も挙げられた。

【5月13日委員会】社会福祉協議会から地域サロンの現状と課題について説明を受けた。サロンは現在8地区で実施。中心人材の不足や参加者の高齢化が課題であり、地域からの相談により活動が再開した例、移動販売に合わせた取組、中学生ボランティアとの世代間交流などを紹介された。一方、社協自身も人員不足により、地域全体を見たコーディネートが困難であるとの課題が示され、地域支援体制の強化が必要であるとの認識を共有した。

学校給食の充実

4月16日・5月13日

給食試食会および栄養教諭からの説明を踏まえ、給食日数の減少への懸念、無償化による量や日数への影響の実態把握、国の無償化施策が実施された場合の町負担軽減分の再配分方針、食材の安全性や地産地消の取組状況などについて意見交換を行った。

今後、給食センターおよび教育総務課へのヒアリングを行い、給食の質と持続性の確保に向けて調査研究を進めることとした。

総務経済常任委員会

避難所運営ゲームで学ぶ

4月6日

前防災担当者の指導のもと、避難所運営ゲーム（HUG）実施。HUGを通して、避難者の受け入れや避難所内の配置、要配慮者への対応について検討を行った。意見交換では、妊婦や感染者患者、女性専用スペース、ペット同行避難などについて議論した。また、避難所運営にはルールづくりやリーダーの存在、女性の視点が重要であるとの説明を受け、防災対策への理解を深めた。



運営ゲーム中の様子

<観光拠点施設視察>

視察先は地域活性化や行政関与の取組を学ぶため、中之条ガーデンズを予定

行政敷地内・B & G 防災倉庫視察 5月11日

役場敷地内防災倉庫の備蓄品について、アルファ化米、飲料水、簡易トイレ、段ボールベッド等の整備状況や、ローリングストックによる管理方法について説明を受けた。また、災害時の物資搬送体制や車両確保の課題について確認した。B & Gでは、油圧ショベル、救助艇、発電機等の災害対応資機材の整備状況を視察し、※道路啓開や救助体制について理解を深めた。

※障害物を取り除いて通行可能にすること



軽自動車で運べる救助艇

比企広域市町村圏組合議会



小川消防署と同タイプを配備予定

【財産の取得について】
「東松山消防署・嵐山分署・ときがわ分署 高規格救急自動車の購入」
・契約金額 1億329万円
・契約相手 埼玉トヨタ自動車株式会社

■5月21日臨時議会開催

小川地区衛生組合議会

●環境衛生常任委員会

「し尿処理施設整備計画」より、新たに下水道への放流に関する検討結果の報告を受けた。今後は下水道放流検討結果を踏まえ、関係箇所等の情報収集・調査、協議を経て整備計画を検討していく、との説明があった。

■5月29日臨時議会開催
【ごみ焼却場解体工事請負契約の締結】
・金額 5億4436万円
・期間 締結日：令和10年3月31日
・契約先 (株) エイワ産業 (東京都)

議会の地域に出向いての意見交換会

■昨年実施された12会場での「議会の地域に出向いての意見交換会」には、130名の方が参加され多くのご意見・ご要望をいただきました。

いただいたご意見・ご要望への対応や回答等についての報告書をホームページに掲載します。



■第2回「議会の地域に出向いての意見交換会」を、以下の日程で開催します。
ご参加お待ちしております。

※ご都合にあわせて、どの会場でもご参加いただけます。

※10月10日は、ふれあい交流センターにおいて保育を行います。希望される場合、2週間前までに議会事務局にご連絡ください。

日 時	会 場	主に該当するエリア
10月10日（土） 午前10時～	ふれあい交流センター 206	菅谷1区～4区、9区
	川島集会所	川島1区～3区
10月10日（土） 午後2時～	ふれあい交流センター 206	菅谷5区～8区
	志賀第一集会所	志賀1区
11月7日（土） 午前10時～	鎌形北部集会所	鎌形
	大蔵構造改善センター	大蔵、根岸、將軍沢
11月7日（土） 午後2時～	志賀2区自治会館	志賀2区
	北部交流センター会議室1・2	古里、吉田、越畑、勝田、広野、杉山、太郎丸
11月14日（土） 午前10時～	町立図書館多目的室	むさし台
	平沢コミュニティセンター	平沢1区、2区
11月14日（土） 午後2時～	遠山	遠山集会所
	千手堂2区集会所	千手堂1区、2区

次回定例会は 8月27日(木)開会の予定です。皆様の傍聴お待ちしております。
請願・陳情は 8月19日(水)午後5時までに提出してください。

編集後記

町政六十周年に向けて、とても爽やかな《町歌》が完成しました。緑豊かで、文化華やき、風も優しいこの町で、いつも、いつまでも健康で、幸せにときめき、みんな笑顔で輝いてほしい。町民の幸せを願う希望あふれるいい歌だと思います。

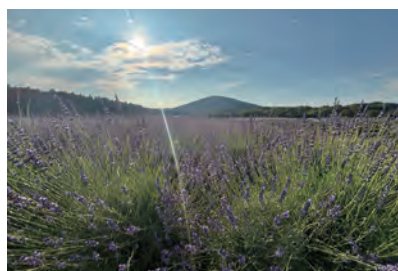
本多静六先生が「武蔵の国の嵐山」とよび、昭和四十一年に誕生した嵐山町には、ゆくて明るい夢があります。その夢を叶えるには、この町を愛するすべての人の思いが一つになって、未来へかける虹にならないければなりません。

《千年の苑》を紫色に染める《ラベンダー》には、人の気持ちをリラックスさせてくれる優れた力があります。あるがままに咲くことが、人の心を癒す力になる。

「きつとそれはみんなに与えられている力だと思う。いろんな色があるから虹になる。おたがいの色を認め合えば、未来へかける大きな虹になる」そんな思いにさせてくれる歌だと思っています。

嵐山町は明るい未来へ向かって羽ばたきます。

(宮本)



ラベンダー園と大平山=R8.6.29